



アンコールクライムーズネット (ACN) ニュースレター

by Angkor Climbers net

アウトドア総合ブランド (株) モンベル、アウトドアギヤ輸入販売 (株) ロストアローより賛同・支援をいただいています。

<http://www.angkorclimbers.net/>

2015/3/31 第16号

第4回アンコール・カップ開催



2014年12月14日、第4回アンコールカップを開催した。今年度も日本、アメリカ、ラオスなどから運営ボランティアが駆けつけ、シエムリアップユースクラimbingフェスティバルのクライマックスにふさわしいイベントとなった。

ボルダリングコンペ



翌週 12月21日(日)には、こちらは今回で二回目のアンコールカップボルダリングコンペの部を開催した。

第4回アンコールカップ・リザルト(ロープ・クライミング)

今回のアンコールカップも、リードクラス男子はセイハが総合優勝した。女子は今年度卒業のティビが返り咲いて総合優勝のカップを手にした。

エントリークラス	性別	年齢	クラス	クラス参加人数	クラス別順位	入賞者氏名	総合順位
CCF	M	10-12	CCF - A1 - M	3	1	Hung Yanfai	
					2	Hung Yanfei	
					3	Seong Cholna	
CCF		15	CCF - A2 - M	4	1	Hung Barang	
					2	Hai Thy	
					3	Ouch Kunthea	
CCF		18-22	CCF - A3 - M	5	1	Sor Seyha	1 st
					2	Cho Channy	
					3	Khem Mesa	
CCF	F	17-19	CCF - B - F	3	1	In Theavy	1 st
					2	Gnoem Chenda	
					3	Morm Sreynich	
OPEN	M	12-14+22	OP - A - M	16	1	Tar Barang	1 st
					2	Tuy Pannha	
					3	Som Sophal	
OPEN	F	12-17	OP - A - F	7	1	Seong Chkan	1 st
					2	Seng Sreyden	
					3	Oudom Chakya	
Total				38			



謝辞

●シェムリアプ・ユース・クライミング・フェスティバル 2014 は、下記のみなさまから、格別のご協力をいただきました。
お礼申し上げます。(順不同)

カンボジア・オリンピック委員会様、シェムリアプ州教育青年スポーツ局様、(株)モンベル様、ロストアロー(株)様 クライミングジム・ビッグロック様、佐久平ロッククライミングセンター様、クライミングセンター・アートウォール様、山と溪谷社様、日本勤労者山岳連盟様、(公益社団法人)日本山岳協会様、小さな美術スクール様、モロッポーカフェ様、FSUN ツーリスト様、クロマ―ユーユー様、ローユーユー様、

●運営スタッフ及びボランティア

ファシリテータ: 浅井和英(ACN 役員)

通訳: ヒア(小さな美術スクール様)

ルートセッター: 浅井和英(ACN 役員)

審判長: スムロン

審判: キムスロイ、アダム(サントン・ニセルト(ラオス))

ビレイヤー: マリー(USA)と友人たち(USA、スペイン、その他)

記録: テビィ 写真: 濱口秀隆 受付: 高木智子(ACN 役員)



～ ご協力ありがとうございました。～

ボランティアで集まった運営スタッフの面々

ボルダリングカップの後、インストラクター候補の技術チェックをおこなった。



2014年8月26日よりNPO 法人となりました

前号で申請中とお知らせしていた NPO 法人化が実現しました。当初知らされていたより早く認証の通知が届き、9月7日に予定していた 2014 年度の総会が、急遽NPO法人としての第一回定期総会となりました。NPO 設立にあたり東京都に提出した以下の趣旨書をお読みいただき、私たちの活動を広げていく意味をもう一度、ともに考えていきたいと思います。

特定非営利活動法人アンコール・クライマーズ・ネット設立趣旨書

●設立主旨

・カンボジアの現状と背景

カンボジアは、1970 年前後より四半世紀に及ぶ内戦と、クメール・ルージュによる虐殺で大勢の国民を失った。この歴史と、内戦中の軍や政府に蔓延した汚職などの腐敗構造の影響が、今もなおカンボジア社会の健全な発展を妨げている。一方、2003 年からの 10 年間で世界遺産アンコールワットが呼び込んだ外国人観光客は 5 倍以上に増え、劇的な好景気を生み出した。この数年、カンボジアでは地価が高騰し、建設ラッシュが起きている。経済の発展に伴い、都市住民の所得は増加し、ことに土地の転売に関わることの出来る富裕層は短期に蓄財し、先進国水準の消費生活が可能になってきた。その陰で、主要産業を担う農村では医療保険制度等は未整備であり、家族の重篤な病気や洪水や不作による借金返済不能等の理由で農地を失う人々も

増えている。

このような顕著に不均衡な状況から、ズルく立ち回ることが良いと考えるひが増え、他人を騙してでも金を儲けようとしたり、低賃金で真面目に働くものや弱者を軽視したりする傾向が目立つ。若者たちも一つの職場に定着しない。もっと楽で儲かる、うまい話があるのではないかと考える。学校の授業でも、体育や音楽などのひとを豊かに育む分野が軽視される傾向にある。これらはすぐには金儲けに繋がらないからだ。子供たちは心にゆとりをなくし、豊かで文化的な暮らしから遠ざけられつつある。人々の中に、拝金主義や、フェアでない生き方が忍び寄って来ている。

・なぜクライミングか ー私たちの目指すものー

先進国は、衣食住や医療など直接生存に関わるものを中心に開発途上国の援助を進めている。しかし、それだけでひとが生きていける訳ではない。成熟した社会は遊びや楽しみが、ひとを豊かに育むことを様々な経験から学んでいる。一方でカンボジアのような開発途上国の子供は早く大人になる。ならざるを得ない。家計を支えるために10歳で働く子もいるのが現実である。彼らは大人になっても続けられる楽しみや、自分で考え、自分で問題を解決することの大切さを知る前に大人になってしまう。

アンコール・クライマーズ・ネット（以下、ACNと称す）はスポーツ・クライミング（以下、単にクライミングと称す）を通じて、カンボジア青少年の豊かな成長を願う。

競争ではなく調和を。自分で考えること。他人に勝つ優越感より、自分の限界を超えてゆく楽しさを、クライミングを通して体験して欲しい。私たちはこれまでの経験からクライミングが、フェアで機知に富み、広い視野を持った思いやり深い人材を育てることを知っている。クライマーは自然やそこに住む人々との調和を常に感じ、考えて行動する。クライミングは好ましいライフスタイル（生き方）の一つであり、それを知り、学び、身に付けることが、やがて彼らの真に生きる力になると確信している。

●設立申請までの経過

私たちは2010年2月、カンボジア、シェムリアップ市内に、クライミング用人工壁を建設し、それを拠点にシェムリアップ州内の中高校生を対象にしたクライミング・ワークショップを開催してきた。そこで育てた生徒をはじめ、海外からの参加者も含めたクライミング競技会を毎年開催し、近隣国（ラオス、シンガポール）への連携の働きかけを行った。さらに2013年、日本のスポーツクライミングの統括機関である日本山岳協会に働きかけ、同協会が主催する競技会にカンボジア人高校生2名の招待参加を果たした。これらの活動により徐々にではあるが、私たちの活動がカンボジア社会に認知されつつある。

・今後の取り組み

これまでは施設の準備に力を注いできたが、今後はきめ細かい活動に目を向けたい。たとえば、クライミングの安全技術に関する指導員や人工壁の運営についての指導員を定期的に現地へ派遣し、カンボジア人のクライミングインストラクター育成のための研修、運営技術指導を、時間を掛けて行いたい。

また、カンボジア人がスポーツクライミングの国際組織に加入することを助けて、アジアや世界で同様のスポーツを楽しむ人々の仲間入りをし、広く様々な人々からの指導と理解、支援を求めたい。

このようなスポーツクライミングの普及、発展を支援することで、過酷な歴史体験を背負ったカンボジアの子供たちの健全な育成を図り、それが、カンボジアの平和、アジアの平和を作る基礎となり、ひいては日本の平和、世界の平和とつながることを展望する。

また、ACNはその設立理念について、広く一般市民の理解を得るため、情報を公開し、一般市民が自由に参加できる正しい行動を行う団体として永続的に活動を続け、公正な規範に則りフェアに活動するため、法人格を取得してこれを実現したく、ここに特定非営利活動法人としての申請をさせていただく次第である。

2014年3月1日 設立代表者 東京都調布市多摩川5丁目3番地1 ネオコーポ調布506 氏名 伊藤 忠男

(特定非営利活動法人)アンコールクライマーズネットの役員構成

●理事及び監事

NO.	氏名	役	職	在
1	伊藤忠男	代表理事		東京
2	安田至宏	副代表理事	事務局長	甲府
3	伊藤明子	副代表理事	総務	東京
4	堀田圭子	理事	会計	東京
5	高木智子	理事	総務	カンボジア
6	有泉重正	理事	総務	東京
7	棚澤健治	理事		横浜
8	才原明男	理事		埼玉
9	浅井和英	理事		長野
10	鴨志田智也	監事		東京
11	吉富明	監事		東京



調布市文化会館たづくりにて NPO としての第 1 回総会

●相談役・顧問・専門家ボランティア

※定款 第55条

氏名	役	在	備考(専門等)
神崎忠男	相談役	東京	
今田明子	相談役	東京	
榎田猛彦	相談役	東京	
松本清嗣	顧問(運営)	カンボジア	
森山謙雄	顧問(技能)	長野	
矢野光之	顧問(技術)	埼玉	
山本芳樹	顧問(技術)	東京	建築構造
大岩明子	顧問(登攀)	川崎	
モーガン三恵子	専門家ボランティア	カンボジア	通訳、翻訳
Geraldine Lim(MS)	専門家ボランティア	シンガポール	公式文書の英文校正、シンガポールNGO役員
福神和子	専門家ボランティア	東京	翻訳
本郷絵里子	専門家ボランティア	東京	翻訳
伊藤洋美	専門家ボランティア	ボツワナ	広報
若江勇一	専門家ボランティア	愛媛	人工壁整備指導、競技ルートセット
塚内尚子	専門家ボランティア	東京	通訳、翻訳
Mary Luthy(MS)	専門家ボランティア	カンボジア	ブノンペン在アメリカ人、登攀技術指導
多川 敦	専門家ボランティア	長野	登攀技術指導、人工壁整備指導
Sangthong Nieselt (MR)	専門家ボランティア	ラオス	登攀技術指導、登攀ガイドスクール主宰(バンビエン)

ACN日本とACNカンボジア

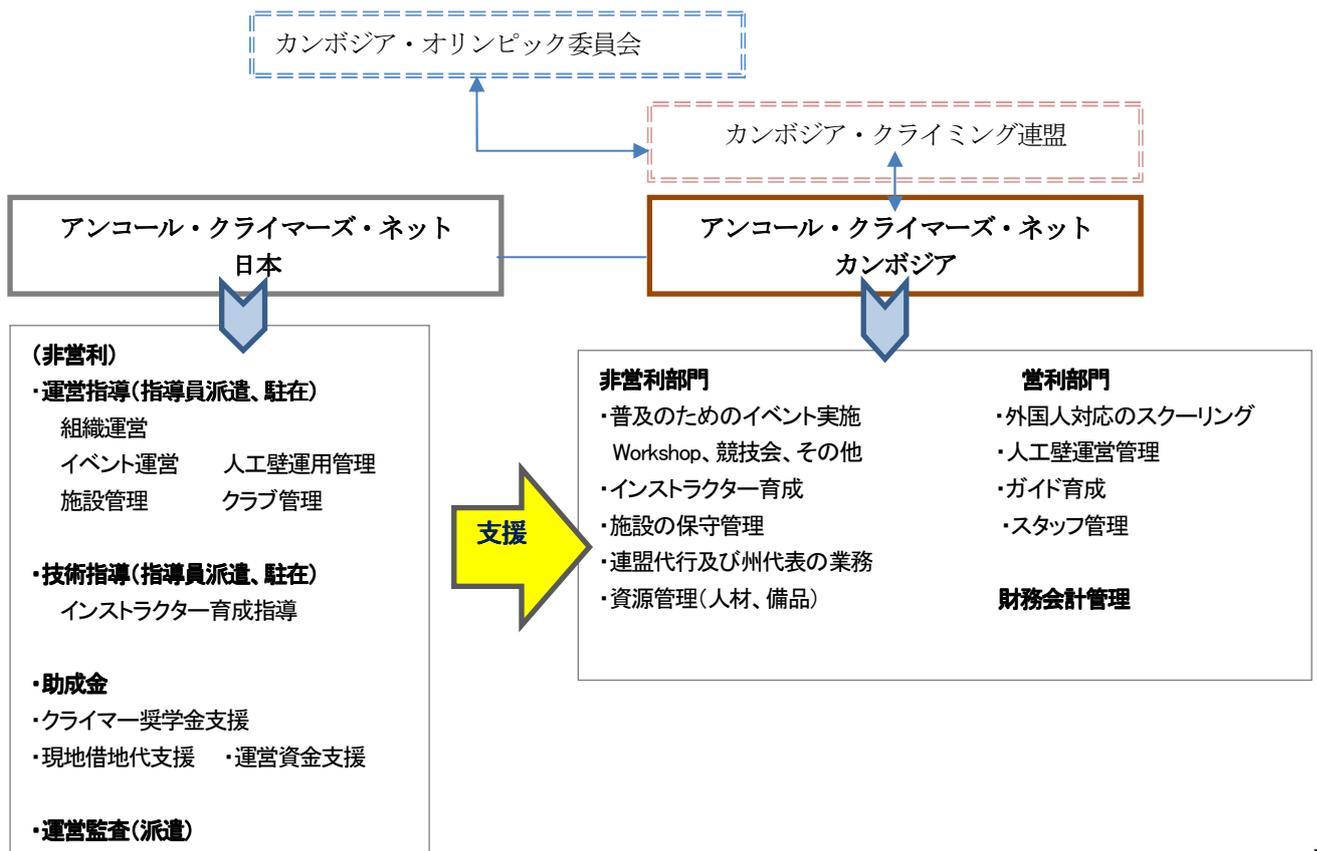
一 カンボジア国内でのステータス

アンコール・クライマーズ・ネットは政府直轄組織・カンボジア・オリンピック委員会傘下の全国連盟組織カンボジア・クライミング連盟の配下となるシェムリアプ州代表の協会であり、任意のスポーツ振興団体である。ただし、カンボジア政府が規定する「NGO」としては未申請。資格が十分でないため。現時点ではカンボジア国内で、任意団体として認識されている

一 アンコール・クライマーズ・ネット・日本(非政府、非営利、NPO法人)

日本人スタッフで運営し主たる活動は、ACN-CA非営利部門への運営指導、技術指導、資金投入(寄付)

ACN-JP 法人の目的に適うイベント等に限って運営費用を支援



10月4日・5日 日比谷公園でグローバルフェスタ2014に出展

アンコール・クライマーズ・ネットは、「人権平和ゾーン」に出展し、「ピラミッドジャパン」様のご好意により無料で借り受けた「シムリアップの人工壁の縮小版」を使って、無料体験クライミングを実施しました。2日間で大人61人子供40人が体験クライミングをしましたが、二日目は台風接近のため午後は中止となり、雨の中撤収作業を行いました。今回出展したことで、こんなにもたくさんの国際NGOやNPOがあること、それらに関心を持つ人もこんなに多いということがわかり、初参加の団体として良い経験をさせていただきました。



11月22～25日 広島山岳平和祭カンボジア代表団をサポート



23日 山岳平和祭
アジア山岳連盟創立
20周年記念フォーラム
24日 宮島ハイキング
25日 アジア山岳連盟
総会

カンボジアクライミング連盟(CCF) 理事長ウンシレイディ氏と副理事長ヘムトン氏は、日本山岳協会の紹介で、アジア山岳連盟(UAAA) 20周年記念「広島山岳平和祭」に招待され、アジア山岳連盟総会にオブザーバー出席することができた。この渡航について、日本のビザ取得手続きや航空券の手配等をアンコール・クライマーズ・ネットがおこなった。カンボジアクライミング連盟の歴史はまだ浅く、正副理事長といえどもクライミングの経験はない教育青年スポーツ省の公務員とオリンピック委員であるのだが、それぞれ教育・スポーツの分野で国際経験は豊富な二人であるから、すぐに各国の参加者とうちとけ、情報交換をすることができた。

右の写真は、アジア山岳連盟総会会場で、左から、CCF 理事長シレイディ氏、アンコール・クライマーズ・ネット代表理事伊藤忠男、CCF 副理事長ヘムトン氏



— 訃報 —

ヘムトン氏は去る2015年1月、ご病気で逝去されました。謹んでお知らせします。(伊藤)

・「カンボジアユースクライマー研修プロジェクト2015@日本」が始動

2013年にカンボジアの高校生2名と監督1名を日本のコンペに招待参加させていただいたときのように、今年も高校生と人工壁修理技術者の研修を計画しています。このプロジェクトについて「真如苑多摩地域市民活動公募助成」に申し込んだところ、30万円の助成金をいただけることになりました。現在、高校生の人選にはいっています。

・NPO法人化に伴い、新たな会員制度でスタートしています。

ACNへ入会をご希望の方は、随時下記宛て、お知らせください。入会要項、必要資料等、ご希望の方法で送ります。一般個人会員の年会費は¥5,000です。事業年度(7/1～翌年6/30まで)に対応して納入をお願いしています。みなさまの支えがカンボジアの青少年の、健全な成長を継続する確実な助けになります。

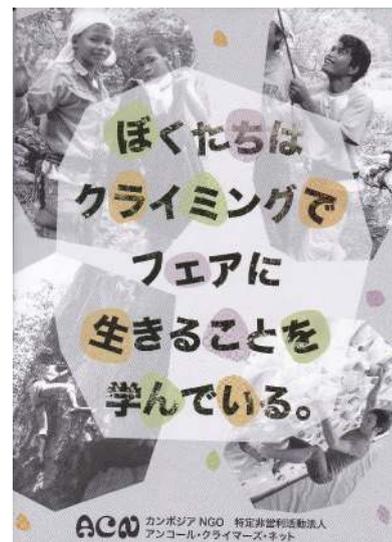
■アンコールクライマーズネット (日本事務局)

伊藤忠男 気付

〒182-0025 東京都調布市多摩川5-3-1-506

tel. & fax +81-(0)42-498-2488 Email: info@angkorclimbers.net

右図のようなパンフレット(A3を八つ折り)と、2008年からのあゆみをまとめたパンフレット(A3を二つ折り)ができています。クライミングジムやお店などに置いてくださる場合や友人等にご紹介くださる場合には、郵送しますので、必要部数を事務局宛てご連絡ください。



・構造体整備等について

ー クライミングウォール構造体整備

前年度中に実施された構造体チェックで見つかった溶接個所の腐食孔6ヶ所は本年度11月に補修済み

・寄付・寄贈、

ー 寄付金、寄贈品等(第4回アンコールカップへの寄贈を除く)

2015/3/31 現在までの、寄付金累積総額は、¥6923273+ US\$13,660となりました。また、里親基金累計総額は、¥2,620,000 +US\$1,250です。ご寄付をいただいた方76名様、クライミング装備その他をご寄贈いただいた方34名様(一部記録もれの可能性あり)、及び里親となっていた方は4名様となっています。大変ありがとうございました。

ー 第4回アンコールカップの開催に際して、下記の団体様より、ご寄付、様々な賞品、備品の寄贈等をいただきました。大変ありがとうございました。

日本

・(株)モンベル様、・(株)ロストアロー様、・日本勤労者山岳連盟様、・軽登山靴クラブ様、・クライミングジム・ビッグロック様、・佐久平ロッククライミングセンター様、・HAT-J(日本ヒマラヤンアドベンチャートラスト)様、・NHK文化センター町田登山教室様

カンボジア

・FSUNツーリスト様、・小さな美術スクール様、・モロッポーカーフェ様、・クロマーユーユー様、・ローユーユー様

2014年8月～2015年3月までに、ご寄付、ご寄贈、里親出資いただいた方は下記の通りです。なお本お知らせは、email版ニュースレターと連携して対応する期間に寄付された方のお名前だけを本誌にて、順次お知らせしています。

ー寄付

太田広和様、米倉優介様、榎田猛彦様、鴨志田智也様、浅田信一郎様、(有)アートモリ様、日本勤労者山岳連盟様、堀田文雄様、林武子様、清水不二様、軽登山靴クラブ様、貞兼綾子様、マリー様(順不同)

ー寄贈 ※寄贈及び奉仕活動をもってご支援いただいた方も含みます。

北山真様、有泉重正様、平川真司様、伊藤洋美様、安田至宏様、鴨志田智也様、今田明子様、廣田博様、辻美津代様、宮崎宜子様、青佐恭子様、池田博子様、才原明男様、榎澤健治様、(順不同)

ー里親 堀田圭子様、才原明男様、榎澤健治様、清水不二様(順不同)

★★★ 寄付及び会費専用口座 ★★★

■ゆうちょ銀行

記号 10010
番号 75286831
口座名 アンコールクライマーズネット

■三菱東京UFJ銀行

支店名：調布支店
預金種目：普通預金 口座番号：0081781
口座名：アンコールクライマーズネット

Webサイトでもご確認いただけます。
http://www.angkorclimbers.net/acn_donation.html

☆☆☆ アンコールクライマーズネット連絡先 ☆☆☆

■アンコールクライマーズネット（日本）
伊藤忠男気付
〒182-0025 東京都調布市多摩川5-3-1-506
tel. & fax +81-(0)42-498-2488

■アンコールクライマーズネット（カンボジア）
Angkor Climbers Net (ACN)
tel. +855-(0)92-336-924, +855-(0)12-1759970

・郵便住所
POBOX 93044, Siem Reap, Siem Reap, Cambodia

・所在地
c/o Angkor Climbing Wall
Krus village, Svidoncom commune
Siem Reap, Siem Reap, Cambodia

■ email info@angkorclimbers.net

カンボジアの宝、トンレサップ湖の野鳥



←2月からの乾季に現れるトンレサップ湖の野鳥営巣地は、アンコールワットに比肩するカンボジアの宝。

→
毎年、ローユューユーに設計・制作をお願いしているアンコールカップがこれ。持っているのは、ラオス・ヴァンビエンから駆けつけた友人のアダム。

これがアンコールカップ



contents

- 01 第5回アンコールカップ開催
- 04 法人化報告
- 06 その他のイベント
- 07 from ACN's Desk 事務局から
構造体整備
ACNの会員制度
寄付・寄贈について

※写真、地図、イラストはすべて ACN オリジナルコンテンツです

editor's note

いつもですが、今回はさらに前号から長いブランクです。記事が多くて煩雑ですが、なるべく写真を多用してイベントをレポートしました。僕の体調はそう悪くありません。気を使ってお手伝いいただいた役員やボランティアの方々にお礼申し上げます。また、お見舞いに来ていただいた方々にもお礼申し上げます。それにしても残念なのは、2009年にスムロンと二人でCCFの立ち上げを手伝っていただくようお願いしたオリンピック委員会事務局ヘントン氏が急逝されたことです。ヘントン氏との出会いがなければ僕らの活動がどうなったか、いまでは想像もできません。合掌 (Chu)

©禁無断転載

アンコールクライマーズネットニュースレター

2015年3月号 NO.16 2015年3月31日発行

非売品

発行人 伊藤忠男

編集人 伊藤忠男

発行 アンコールクライマーズネット (Angkor Climbers Net)

〒182-0025 東京都調布市多摩川5-3-1-506

tel 042-498-2488 fax 042-498-2488

www.angkorclimbers.net